

議 事 録

会議の名称	那珂川市総合運動公園に関する地元説明会		
開催日時	令和 8 年 5 月 25 日（月） 19：00～20：00	開催場所	中央公民館
出席者	23 名（後野区・恵子区・道善区） スポーツ課 松野課長 （運動公園企画担当）石井係長・副島・久保山 （運動公園公務担当）小林係長・米倉 契約事業者 9 名（以下、事業者）		
配布資料	別添のとおり		
内容			
1. 運動公園の事業概要の説明			
2. 質疑応答			
参加者：1 点目に、コンセプトに運動の森公園とあるが、施設が多く緑地スペースが少ないと思う。 2 点目に、去年の説明会に参加していないので、認識不足であれば申し訳ないが、当初の整備メニューに野球場は入ってなかったように記憶している。 サブ広場は、完成予想図を見る限り野球場としての利用を考慮されていると認識を持っている。 当初公開された整備メニューの中には、サッカー程度の広場で、照明の設置はなしとあったが、隣接する住民の方からの要望や了承があつて変更となったのか。それとも、現段階の提案であり、調整はされていくのかについて聞きたい。			
市	：1 点目については、自然の配慮や、CO2 の削減などは考えていかないといけないと認識している。例えば、クラブハウスや弓道場に蓄電池と太陽光パネルを置いて CO2 削減を考えている。緑地が少ないのは指摘の通りであるが、CO2 の削減などを考えていきたい。 2 点目のサブ広場については、どのような形状が適切かを考えたときに、野球場のような状況となっている。基本的には少年サッカーや少年野球の利用を想定しており、本日説明の形状が野球場のような状況になっている。照明については、メイン広場とサブ広場、テニスコートに夜間照明を設置する予定である。隣接する住宅に光害が広がらないように、照明の高さや位置を検討しながら整備していきたい。		

参加者：野球の利用では、騒音や照明などが近隣の方々の生活環境に対する負荷が強い。

また、当初の整備メニューに、四季を感じる緑地スペースみたいなものがあったが、今回の説明では見当たらない。例えば、サブ広場を野球利用ではなく全面芝生広場とし、一般のスポーツ利用でない方の軽スポーツができるものも検討してほしい。

市：四季を感じる緑地スペースについては、市も認識している。今後検討する。

参加者：キーワードに環境意識を醸成するとあるが、運動公園でどのような環境意識が高まるのか疑問である。

駐車場のスペースは何台を計画しているのか。

近隣の道路が非常に混むが、どのように考えているのか。

市：環境意識の醸成については、検討している段階である。

駐車場の台数については、サブ広場の臨時駐車場として含めて 400 台程度を考えている。

交通渋滞については、運動公園線が約 130mあるため、そこで車を滞留させ、交通渋滞が緩和できないか検討している。

運営開始後に交通渋滞が発生する場合は、道路管理者や警察と対策を検討したい。

参加者：ミリカローデン那珂川の駐車場は何台停められるのか？

事業者：ミリカローデン那珂川は 350 台くらい。神奈川県茅ヶ崎に同様の PFI 事業のスポーツ施設があるが、150 台で足りないと聞いている。そのため、400 台あれば十分ではないかと考えている。

参加者：生活道路が抜け道にならないように、対策は考えているのか。

市：生活道路に近い駐車場（南西側）は出入口の形状等、今後対策を検討していきたいと考えている。

参加者：南西側の駐車場について説明を。

市：常時利用する駐車場ではなく、大会やイベント、もしくは管理者用として整備する予定である。常時使うとは現状考えていない。

参加者：運動公園と周辺を区切るフェンスのようなものは考えているのか。

市：事業用地をすべてフェンスで囲むことは考えていない。

住宅と隣接する箇所はフェンス等を整備しないといけなく考えている。

参加者：西側の道路と公園の境界に周回園路はないのか。

また、青い園路はランニング用で散歩できるものではないのか。

市：西側道路との境界に園路の整備予定はない。

青い園路とは別の散歩用園路を整備予定であるので、ランニングと散歩で分けて利用をイメージしている。

参加者：観客席側の道路が急カーブになっている。駐車場の入口が近くにあるとのことだが、既存道路の拡幅は検討されているのか。

市：明確にお答えできない。ただし、危険であることは把握しており道路管理者とやり取りをしている。また、道路に車が滞留しない対策を検討している状況である。

参加者：工事車両の進入口は固定されるのか。

市：運動公園線を利用することで施工者と話を進めたいと考えている。

参加者：生活道路は利用しないということで良いか。

事業者：基本的には運動公園線を利用したいと考えている。ただし、隣接する道路の接続部分について工事が発生する可能性がある。その際は、安全上、短期間の車線規制し作業させていただく。

参加者：区画整理や運動公園により田んぼがなくなる。雨が降った場合の対策は。

市：吸収できない雨は、駐車場などに地下式の調整池を設け、下流域に迷惑をかけないように配慮した計画を進める。

参加者：6月2日にも説明会があるが、その日も契約事業者は来るのか。

市：2日は市のみで説明会を実施する。ただし、説明会は1回では終わらないと考えているため、設計者を入れて、もう一度話をしたいと考えている。

参加者：配置は変えられないと聞いている。周辺住民の許可や説明も何もなかった。地域住民の話を聞いて配置を考えたいと聞いていたがどうなっているのか。

6月2日に設計者も来てほしいとお願いした。来ないとなると、市が対応できない意見を聞くということか。

市：レイアウトの変更が難しいのは説明のとおりである。ただし、ここでは示せていない緩衝緑地帯や、住宅との境界のフェンスなどをどのような形にしていくのか意見をいただければと考えている。

また、設計者と綿密に協議を行っている状況であり、いただいた内容は即座に反映し、2回目の意見交換会を実施したい。6月2日は、速やかに実施したいところもあり、設計者不在ではあるが、近隣にお住まいの方と意見交換したい。

参加者：周辺に柵を作らないとのことだが、駐車場の施錠は。

市：夜間施錠することで考えている。

参加者：時間は。

市：検討段階であるが、22時から施錠を考えている。

参加者：夜間の見回りなどの防犯対策は。

住民からの要望として、監視カメラの設置があったが検討しているのか。

市 : 機械警備や 24 時間の防犯カメラの設置を踏まえた検討を事業者で考えているところである。

参加者 : 防災を考えているとあるが資料がない。防災についての考え方は。

市 : 国や県からの支援物資の輸送拠点として考えている。フレキシブルコートを拠点とし、物資の貯留や配送を議論したいと考えている。また、避難所となっている市民体育館との連携も検討していきたいと考えている。

参加者 : 井戸や災害用の屋外トイレなどは考えているのか。

事業者 : 井戸については検討中である。マンホールトイレや防災用倉庫も設置を考えている。

文責：久保山